

出題のねらい 〔一般選抜（A方式）〕

中村学園大学〔栄養科学部栄養科学科〕

【英 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 英文中の語の意味をつかみ、正しい同意語を選ぶ語彙力を問う。

第4問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第5問 会話の流れを正確に把握する力、コミュニケーション英語力、英文中の情報を正確に読み取り判別する力を問う。

第6問 長文の読解力・内容把握力を問う。

【国 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合（漢文を除く）の範囲である。

第1問 現代文・評論 榎原智子『「孤独な育児」のない社会へー未来を拓く保育』からの出題。

漢字の書き取り、語の読みといった基本的な知識のほか、空欄補充、傍線部の内容説明、理由説明、本文の内容と構成の説明といった問題で文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 古文『住吉物語』からの出題。

古語の読み、語句の意味、文法といった基本的な知識のほか、動作の主体の確定、傍線部の表現や語句の説明、登場人物の心情の説明、傍線部の解釈、内容合致といった読解問題で文章を丁寧に読み取る力を問う。

【数 学】

〈出題のねらい〉

3大問で構成されている。各分野から偏りなく出題されており、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問うている。

第1問 数と式、場合の数と確率、式と証明・複素数と方程式、図形と方程式の分野からの出題。各分野の基礎的な理解を小問形式で問う。

第2問 2次関数の分野から、大問形式での出題。グラフの概形や、グラフが x 軸から切り取る線分の長さについてなどの基本事項を問う。

第3問 三角関数の分野から、大問形式での出題。方程式の実数解の個数を考察するなど、基本的考察力を問う。

【化学基礎・化学】

〈出題のねらい〉

化学基礎、化学の基本的な内容を中心に、各分野の内容を幅広くみる問題を出題する。

第1問 化学基礎の中から、「化学と人間生活」「物質の構成」の分野の基礎的内容について、小問形式で問う。

第2問 化学基礎の中から、「化学結合」「物質と化学反応式」などについて、小問、および1つのテーマで3問程度の内容を問う。

第3問 化学の「物質の状態」「物質の変化」「無機物質」の分野から、小問形式やテーマ問題で幅広い内容について問う。

第4問 化学の「有機化合物」の分野から、小問形式やテーマ問題で幅広い内容について問う。

【生物基礎・生物】

〈出題のねらい〉

生物基礎の全分野、および生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の分野から、基本的な内容を中心に問う。なお、第1問～第3問は、栄養科学部と教育学部とで共通問題である。

第1問 「小問集合」(生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出題する。文章選択や語句選択、図を用いた問題などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。

第2問 「生物と遺伝子」(生物基礎)

生物基礎の「生物と遺伝子」の分野の内容を中心に問う。本問では、生物の共通性を題材に、代謝や細胞分裂、DNAの存在部位などについて、基本的な知識や理解を問う。また、生物との比較から、ウイルスについても問う。

第3問 「生物の体内環境の維持」(生物基礎)

生物基礎の「生物の体内環境の維持」の分野の内容を中心に問う。本問では、自律神経系とホルモンによる調節について、体温調節や血糖濃度調節など、基本的な知識や理解を問う。また、ウナギの体液の塩類濃度についてグラフより考察させる。

第4問 「生命現象と物質」・「生殖と発生」(生物)

生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の各分野の内容をそれぞれ中間形式で出題する。本問では、いろいろなタンパク質のはたらき、および、カエルの発生とそれに関わるタンパク質などについて、基本的な知識や理解を問う。